

令和3年度第9回教育研究評議会議事録

日時 令和3年12月15日(水) 14:30～17:09 TV会議
場所 事務局5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 日詰、塩尻、川田、森田、大場、川村、片田、池田、高倉、金原、本橋、
近藤、田島、桐谷、熊倉、村山、笹原、小西、田中、山本、喜多、木村、
鳥山、加藤、江口、猪川、原、三村、朴、坂本の各評議員
陪席者 鈴木、河島の各監事、井柳学長補佐
厨子 大学教育センター長、長谷川情報基盤センター長、北村 防災総合センター
長

I 前回議事録の承認について

令和3年度第8回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学の将来構想について

議長から、静岡大学の将来構想について、資料1-1により、令和2年度以降の会議等の開催状況、資料1-2により、第36回静岡大学・浜松医科大学連携協議会(令和3年11月25日)の報告があった。

また、森田委員から、新学部設置に向けた、入口・出口に関するアンケート調査を実施する予定であるとの報告があった。

<議長及び森田委員の主な説明(資料記載事項以外)>

- ・ 第2回静岡地区の大学運営検討専門員会を12月24日(金)11時から開催する予定である。
- ・ 新学部のカリキュラムは3コースの取りまとめ役を中心として詰めている段階である。
- ・ 受験対象者の反応等のアンケート調査は、本学への入学者実績の高い県内の高校の1、2年生1万人程度を想定しており、本学卒業・修了生を複数名採用いただいている企業・自治体等への採用意向、人材供給に関する調査も実施する予定である。アンケート内容については、3つのコースの説明をし、各コースへの興味等5問程度を予定している。今月中に内容を調整し、来年3月には結果を取りまとめ、基礎データとしたい。

2 令和4年度からのグリーン科学技術研究所の再編とグリーン科学技術研究所規則の一部改正について

朴委員から、令和4年度からのグリーン科学技術研究所の再編とグリーン科学技術研究所規則の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、研究所における主担当・副担当のルールについては、執行部で改めて確認をすることとした。

<委員から出された意見等>

- ・ 鳥山委員から、グリーン科学技術研究所の運営における主担当と副担当の役割についてどのように考えられているのか、教員評価にも影響するため教えていただきたいとの質問があり、朴委員から、グリーン科学技術研究所で主担当・副担当の役割を明確にし

た規定は設けていない、所内では区分なくオールワンで進めていきたいと考えているとの回答があった。なお、朴委員から、第3期中は主担当の場合は各学部での委員長等の重要な役職を免除していただいていたが、第4期にも踏襲するのかどうかは執行部で決めていただきたいとの発言があった。

- ・ 議長から、運用する部局でそれぞれ対応いただいているが、地域創造学環の対応について質問があり、江口委員から、現時点では、マンパワーが不足しているので明確な業務分担は設けずに、柔軟に運用しているとの回答があった。
- ・ 本橋委員から、主担当・副担当がオールワンであるのならば、学部での重要な役職の免除の必要はなく、待遇も同じ方がよいのではないかと発言があった。
- ・ 塩尻委員から、学術院制度を設けた際に主担当・副担当の定義を定め、エフォート管理等のルールがあるが、現段階の人事の実情に当てはめると不都合もあるため、改めて整理をし直す必要はあるとの発言があった。
- ・ 笹原委員から、グリーン科学技術研究所長から依頼された際、主担当でも学部の要職から外すことは難しいとお話をしたところ、配慮の必要はないと回答をいただき、同意しているとの発言があった。
- ・ 山本委員から、研究所主担当でも学部の要職は免除しなくてもよいということによいのかとの質問があった。また、学部の教員は減らされており、研究所の人員を減らすか、主担当の取り扱いを変えるかしないと、この人事システムは破綻するとの発言があった。
- ・ 三村委員から、電子工学研究所では30名から10名に削減する際に、ルールが明文化されており、主担当は重要な役割を免除することになっている。グリーン科学技術研究所と同じ対応をされると困るとの発言があった。

3 「国立大学法人静岡大学と静岡ロータリークラブとの教育連携に関する協定書」及び「国立大学法人静岡大学 地域創造学環インターンシップ科目静岡ロータリークラブ職場体験講座に関する覚書」に関する覚書の締結について

江口委員から、「国立大学法人静岡大学と静岡ロータリークラブとの教育連携に関する協定書」及び「国立大学法人静岡大学 地域創造学環インターンシップ科目静岡ロータリークラブ職場体験講座に関する覚書」に関する覚書の締結について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）の一部改正について

塩尻委員から、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）の一部改正について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 令和4年度のオンライン授業科目と対面授業科目の実施方針について

塩尻委員から、令和4年度のオンライン授業科目と対面授業科目の実施方針について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、全てをオンデマンドタイプの授業とした場合、時間割上で設定しなくてよいのかとの質問があり、塩尻委員から、学生の学習の時間管理が上手くいなくなる恐れがあるので、時間割の枠内で開講いただきたいとの回答があった。

6 試験等において不正行為をした学生の懲戒等に関する指針の一部改正について

池田委員から、試験等において不正行為をした学生の懲戒等に関する指針の一部改正について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 桐谷委員から、学生への周知方法等について質問があり、池田委員から、学生に対しては学務情報システムでのメール配信を行い、また、教員から、試験前に注意喚起をする際、今回の変更を併せて伝えていただくことを考えているとの回答があった。

7 雄蕨寮の運営停止について

池田委員から、雄蕨寮の運営停止について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、寮の運営停止を決めた後でも新規の入寮者を募集すれば、寮生の負担が少しでも減ると思うが、その点は検討されたのかとの質問があり、池田委員から、その点についても寮生が検討したうえで、今回の判断をしているとの回答があった。
- ・ 笹原委員から、片山寮も入居率が低いがどのようにお考えかとの質問があり、池田委員から、4人部屋を高い密度で使用している場合は、部屋の移動を検討するようお願いしている、寮費の安い施設は必要だと思うが、今の時代、どのくらい需要があるのかわからない部分もある、感染症対策としては入居率が低いことはプラスになっているとの発言があった。

III 報告事項

1 令和3年度第8回企画戦略会議（令和3年12月1日）報告

議長から、令和3年度8回企画戦略会議（令和3年12月1日）について、資料8により報告があった。

2 教員採用等報告について

議長から、教員の採用6件、昇任1件について、資料9により報告があった。

3 「国立大学法人の中期目標及び中期計画の素案についての意見等」の送付及び国立大学法人の中期目標についての意見（原案）の提出等について

森田委員から、文部科学省から、「国立大学法人の中期目標及び中期計画の素案についての意見等」の送付及び国立大学法人の中期目標についての意見（原案）の提出等について通知（資料10）があったため、担当理事・副学長等で確認作業を行っているとの報告があった。

4 令和3年度文部科学省補正予算（案）について

片田委員から、令和3年度文部科学省補正予算（案）について、資料11により報告があり、申請等を検討している場合は早めに相談いただきたいとの発言があった。

5 プロジェクト研究所の設置について

川田委員から、プロジェクト研究所の設置1件について、資料12により報告があった。

6 山口大学との大学間データバックアップに関する合意書及び覚書の終了について

川田委員から、山口大学との大学間データバックアップに関する合意書及び覚書の終了と基幹情報システムの災害対策等について、資料13により報告があった。

7 THE世界大学ランキング2022（世界版・Subject）の結果について

森田委員から、THE世界大学ランキング2022（世界版・Subject）の結果について、資料14により報告があった。

8 令和3年度ハラスメント防止対策研修（オンライン研修）の受講状況について

高倉委員から、令和3年度ハラスメント防止対策研修（オンライン研修）の受講状況について、資料15により中間報告があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、オンライン研修が増え、受講済みかどうかをwebサイトで各自が確認できるようにしていただきたいとの発言があり、高倉委員から、次年度に向け検討したいとの発言があった。なお、各部局長へは所属教職員の受講状況のリストをお送りする予定であるため、受講の働きかけをお願いしたいとの発言があった。

9 公式ウェブサイトの改修について

片田委員から、広報委員会が進めている公式ウェブサイトの改修について、資料16により進捗状況の報告があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、英語版ページの改修計画について質問があり、片田委員から、英語版についても同じスケジュールで進めているとの回答があった。

10 ネーミングライツ事業の実施について

片田委員から、ネーミングライツ事業の実施について、資料17により進捗状況の報告があった。

また、ネーミングライツによる収入に関しては、対象施設を管理する部局へのインセンティブとして、教育研究環境等の改善等に使用していただくため、間接経費の配分比率に準拠し35%を配分する予定であるとの発言があった。

11 第4期中期目標期間における「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に係るグループの見直しについて

片田委員から、第4期中期目標期間における「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に係るグループの見直しについて、資料18により報告があった。

1 2 学長決裁により改正した規則等について

議長から、学長決裁により改正した規則等について、資料19により報告があった。

IV その他

1 「静岡大学社会連携シーズ集2022-」原稿作成について

塩尻委員から、「静岡大学 社会連携シーズ集 2022-」の原稿作成について、資料20により協力要請があった。

2 令和3年度学位記授与式及び令和4年度入学式について

議長から、令和3年度学位記授与式及び令和4年度入学式について、資料21により実施方法の説明があった。

3 令和4年度主要会議開催予定表について

議長から、令和4年度主要会議開催予定表について、資料22により案内があった。

4 令和4年学長年頭挨拶について

学長室長から、令和4年1月4日午前9時から行われる、令和4年学長年頭挨拶について、資料23により案内があった。

以上